

marie claire

marieclairejapon.com

26th June, 2025
No.198



Be Fabulous

私が私を輝かせる

本サービスを利用した営利目的の活動行為、
あるいは本サービスを通じて入手した情報を
複製、販売、出版その他
私的利用の範囲を超えて使用する行為の
一切を禁止します。



Welcome to marie claire vol.198

昨

年は来日観光客の数も約3,700万人と過去最多でしたが、今年は「大阪・関西万博」の影響もあり、さらに増加するのではと予測されています。ただそんな状況の中で心配されているのは、宿泊施設が十分提供できるかという点でした。観光庁の調査では、大阪の宿泊施設稼働率は昨年12月の時点ですでに80%に達しており、東京や福岡を超えて全国でトップ。また宿泊料金も高騰しています。それを予測していたのでしょうか、今年になって大阪ではホテルの開業、特に外資系のホテルの開業が増えています。現在ではJR大阪駅を中心とした直径1マイル(約1.6km)圏内にインターナショナル・ホテルが8軒も集中し、東京の集中度を上回っています。

4月には「ヒルトン・グループ」の最高峰のホテル「ウォルドーフ・アストリア大阪」が、3月にオープンした「グラングリーン大阪」に満を持して開業しました。

もともと「グラングリーン大阪」はJR大阪駅に直結した公園を中心とした複合施設。公園の周りを住居、商業施設、文化施設が囲み、宿泊施設も「ウォルドーフ・アストリア大阪」「キャノビーbyヒルトン大阪梅田」「ホテル阪急グランレスパイア大阪」の3軒が、競い合うように開業しました。

「ウォルドーフ・アストリア」は1893年にニューヨークで開業して以来、ビバリーヒルズ、ローマ、カイロ、ドバイ、バンコクなど世界のランドマークとなる場所で開業し、現在世界で37軒を展開しています。現在のホテルでは当たり前となっている客室内のバスルーム、24時間のルームサービス提供などは、「ウォルドーフ・アストリア」が生み出したサービスです。そんな伝統のあるホテルが、日本で初めて開業したのが、「ウォルドーフ・アストリア大阪」というわけです。

ホテルの内装は香港を拠点に活躍するアンドレ・フーによるもので、ニューヨークの「ウォルドーフ・アストリア」のアールドコスタイルと日本の伝統建築を融合させたものです。特に客室のヘッドボードには和紙を背景に日本の伝統技法「組子細工」を施し、洗練された空間を生み出しています。



アンドレ・フーによる日本の美を意識した室内デザイン



エントランスを入ったホールにはアーティスト金子潤の作品が

また「天下の台所」大阪への進出を意識していることなのでしょう、「ウォルドーフ・アストリア・ニューヨーク」発祥のカクテルを楽しめるバーや、エレガントなフレンチレストランなどが用意されています。内覧会の際にアンドリュウ・ムーア総支配人にインタビューをする機会があったので、1. なぜ東京ではなく大阪に最初に進出したのか 2. どういうホテルを目指しているのか 3. 開業するにあたり一番こだわった点——以上の3つの質問をしました。

1の質問については、「『ウォルドーフ・アストリア』は唯一無二の最高峰のホテルで、ロケーションには厳しい選択をしている。それは最高峰のホスピタリティを提供するためだ。大阪は関西のゲートウェイであり、京都、奈良、神戸といった歴史的な街にも日帰りで行くことが可能なロケーションである。また『グラングリーン大阪』は新しい関西のアイコンとして、都市でありながらその豊かな緑で安らぎを感じさせてくれる。さらに『大阪・関西万博』の開催があり、タイミング的にも好機であった」。

2の「目指すホテル像」についての質問に関しては「唯一無二のホテルを実現するためにパーソナライズされたサービス、素晴らしいデザイン、極上の食事を提供していく。デザインは地元のカルチャーに溶け込むよう、伝統プラスモダンなイノベーションで日本の美、匠の技を楽しんでもいただけるよう、また生涯忘れられない体験ができるホテルでありたい。『ウォルドーフ・アストリア』ホテルのお客様はとても目が肥えたお客様。日本で様々な経験をしてみたいお客様ばかりです。また最高のものを知ったお客様です。そんなお客様が最高の経験ができるホテルでありたい」。

3の「最もこだわった点は?」という質問については、「『文化と人がすべて』との考えのもと、優秀で情熱を持っている人材を獲得することに注力した」とのことでした。そしてそれは98%実現したそうです。

開業してまだ時間がそれほどたっていませんが、宿泊客の40%は日本、60%がインターナショナルなお客様だそうです。またバー、レストランのお客様の90%は日本人。ウェディングセレモニーとパーティーの申し込みは数えきれないとのこと。

このように順調なスタートを切った「ウォルドーフ・アストリア大阪」ですが、ホテルラッシュの大阪(東京も同様)で、どのホテルも一番苦労しているのは人材の確保でしょう。インバウンドの方の日本旅行の印象を決めるのは、素晴らしい宿泊施設はもちろんのことですが、そこで働く人達の行き届いたおもてなしの姿勢であることは、間違いないはずですから。

2025年6月26日

Katsuto Tai

田居克人
Katsuto Tai, marie claire 編集長



ラウンジ&バーの「ピーコック・アレー」からは「グラングリーン大阪」が真下に見える



1泊1室200万円以上の最高級客室は「大阪・関西万博」に合わせて来日した海外の首脳級が利用

Contents

- 7 Welcome to marie claire /
- 8 Cover Story: Juliette Binoche /
- 11 marie claire international /
- 12 Style Picks: Denim Force /
- 13 Style Picks: Just Shirt /
- 14 The Watch Trend /
- 16 New Timepiece /

BOOK IN BOOK / Refined Time

- 17 BOUCHERON /
- 18 marie claire mariage /
- 22 marie claire mariage beauty /
- 25 CHANEL COMETES COLLECTIVE /
- 26 RIMOWA /
- 27 BRUNELLO CUCINELLI /
- 30 News /
- 31 News, shop list

COVER

photo: Damon BAKER
realization: Jeanne LE BAULT
hair: John Nollet
make-up: Céline Planchenault
manicure: Magali Sanzey
styling assistant: Sonia Montout
photo assistant: Célia Marjolet, Louis Chauvet
production: Maximilien Dupont, Guillaume Pennec
Canvas jacket, cotton shirt, pants, belt: Prada
Ethical gold Ice Cube earrings and clip-on earrings: Chopard

marie claire

2025年6月26日発行 第14巻 第6号(通巻198号)

発行人 Publisher:
安部順一 Junichi Abe

編集長 Editor in Chief:
田居克人 Katsuto Tai

デジタル編集長 Editor in Chief Digital:
宮智 泉 Izumi Miyachi

アートディレクター Art Director:
木村裕治 Yuji Kimura

ビジネス スペシャリスト Business Specialist:
斉賀明宏 Akihiro Saiga

副編集長 Deputy editor:
大林理子 Riko Obayashi

編集部 Editorial Team:
高波麻奈美 Manami Takanami
マルチンバイヤル ホストウェグ
Malchinbayer Khostsetseg
岩崎芽衣 Mei Iwasaki

パリ特派員 Paris Correspondent:
須山佳子 Keiko Suyama

デザイン Design:
木村裕治 Yuji Kimura
佐藤 幹 Miki Sato

発行 Publication:
読売新聞東京本社
〒100-8035 東京都千代田区大手町1-7-1
tel: 03-3216-8815

THE YOMIURI SHIMBUN

印刷 Printing:
共同印刷
KYODO PRINTING CO.,LTD.

MARIE CLAIRE INTERNATIONAL

Executive Director:
Jean de Boisdeffre
International Deputy & Finance Director:
Felix Droissart
International Brand Director:
Nicia Rodwell
Chief Content Officer:
Galia Loupan
Chief Digital Officer:
David Jullien
International Fashion & Beauty Chief Editor:
Florence Deladrière
Senior International Brand Manager:
Céline Hananel
International Editorial Coordinator:
Marie Bazin
Global Partnerships / Media solutions:
Magali Riboud (Agence Riboud)
Foreign right Commercial:
Thibaud le Paih
Licensing Manager:
Stephanie Ertzbischoff
Iconographer- Photo library:
Isabelle Teboul

©MARIE CLAIRE ALBUM 2025
©THE YOMIURI SHIMBUN 2025
本誌掲載の記事・写真、イラストの無断転載を禁じます。
※本紙に掲載されている商品の価格は
特記されている場合をのぞき、すべて税込みです。



「映画とは何か」「表現とは何か」 真摯に向き合い続ける ジュリエット・ビノシュ Juliette Binoche

今年5月、カンヌ国際映画祭の審査委員長を務めたフランス人俳優ジュリエット・ビノシュ。1985年の初参加から40年を経て、彼女は改めて「映画とは何か」「表現とは何か」に向き合っている。グローバルに活躍する一方で、社会的な声にも敏感に反応する姿勢、そして俳優としての飽くなき探究心は、今なお進化を続けている。審査委員長としての視点、ドキュメンタリー映画制作の舞台裏、そして彼女の“変わらない信念”について聞いた。

1985年、アンドレ・テシネ監督作『ランデヴー』で初めてカンヌに姿を現したジュリエット・ビノシュは、当時まだ無名の若手俳優だった。「何もかもが新しく、写真を求められて浴槽の中でポーズを取ったり、海辺でふざけたりしてた。ただ雰囲気身に任せていたの」と笑う。

ジュリエットは「私はカンヌで生まれたの」と語る。ミハエル・ハネケ、オリヴィエ・アサイヤス、アッバス・キアロスタミ、ホウ・シャオシェンなど、名だたる監督たちとの作品で幾度となくカンヌに戻り、2010年には女優賞も手にしている。だが、その歩みは栄光だけでなく、挑戦と対話の連続だった。

「審査はジャッジする場ではない。耳を傾けること、対話することが大切なの」。そう語る彼女の姿勢は、俳優としてのキャリアにも通じている。2010年の授賞式では、イランで取監されていた監督ジャファル・パナヒの名を記したプレートを壇上で掲げて話し、3日後に彼は釈放された。「意図して政治的だったわけじゃない。ただ、心からの行動だったの」

今、彼女が力を注いでいるのが、自身初の長編ドキュメンタリー制作だ。振付師アクラム・カーンと2008年に制作したダンス作品『In-I』とその舞台裏を記録した『Creating In-I』の2作品を同時に編集している。

「俳優のロバート・レッドフォードが『これは映画にすべき』と言ってくれたのが始まり。妹と一緒に37日間撮り続けた映像と、150時間分のリハーサル映像を使って、2本の映画を同時に仕上げているの」

「編集作業はセラピーのようだった。カメラは顔や表情、呼吸や汗までも捉える。舞台では見えない“真実”を映したかった」と語る彼女にとって、映画とは最も生々しい表現のかたちだ。自分の中に生まれる衝動を、外に向けて動かす。その過程こそが、演技であり、踊りであり、生きることそのものなのだ。

ジュリエット・ビノシュが尊敬する元女性審査委員長はノルウェーの俳優・映画監督のリヴ・ウルマンだ。「彼女の作品と公私ともにパートナーだったイングマル・ベルイマン(映画監督)との関係は、私にとって大きな学びだった」と語りながら、「女性が審査委員長を務めることを“特別な出来事”として祝う風潮には違和感がある」とも話す。「私が女性として8人目の審査委員長であることを喜ぶよりも、それ以前に70人以上の男性がこの役を務めてきた事実を見つめるべき」とジェンダーの単純化には距離を置く。

現在も彼女は表現者として挑戦を続けている。ホメロスの叙事詩『オデュッセイア』をリメイクした、ウベルト・パゾリーニ監督の『The Return』ではオデュッセウスの妻のペネロペ役を演じ、古代神話を現代に重ねた。「失われた島で権力と愛が崩壊する世界を描き、今の時代にも通じる物語。ペネロペは暴力を憎みながら、夫の帰還を待ち続けた」

そして、カンヌ閉幕の翌日からはギリシャ・エビダウロスでの舞台公演の準備に入る。「いつだって、すべてに“イエス”と言い続ける覚悟があるの。そうでなければ、役者という仕事は成立しない。自己を捧げるからこそ、誰かの心に届くのよ」

“表現する”とは、即ち自分のすべてを懸けること。ジュリエット・ビノシュのその姿勢は、私たち観る側にも真摯さと勇気を問いかけてくる。

© Chopard



カンヌ国際映画祭2025で
オフィシャルパートナーを務める
「ショパール」のジュエリーをまとうて
登場したジュリエット・ビノシュ。
オープニングセレモニー(上)では
シャンデリアのように流れる
ダイヤモンドイヤリング、
クロージングセレモニー(下)では
ダイヤモンドのフープピアスを着用



1964年3月9日生まれ、パリ出身。
1983年に映画デビューし、
『トリコロール／青の愛』(1993年)で
ヴェネツィア国際映画祭女優賞、
1996年『イングリッシュ・ペイシエント』で
アカデミー助演女優賞、
2010年『トスカーナの悪作』で
カンヌ国際映画祭女優賞を受賞し、
世界三大映画祭すべてで女優賞を獲得。
舞台や社会活動にも積極的で、
2025年カンヌ国際映画祭では
審査委員長を務めた。

photo: Damon BAKER (P8)
realization: Jeanne LE BAULT
interview & text: Emily BARNETT
hair: John Nollet
make-up: Céline Planchenault
manicure: Magali Sanzey
styling assistant: Sonia Montout
photo assistant: Célia Marjot, Louis Chauvet
production: Maximilien Dupont, Guillaume Pennec
translation: Keiko Suyama

ジャケット、パンツ(ともにロエベ／ロエベ
ジャパン クライアントサービス) ブーツ
(ブラダ／ブラダ クライアントサービス)
リング、イヤリング、イヤークフ(すべてショ
パール)

現在、世界30カ国で出版、配信されている『マリ・クレール』。その最新記事から気になる話題を厳選してお届け。
今月は、米国版のデジタル記事から、とっておきのビーチ案内をご紹介します。夏休みの旅計画に役立てて。

translation: Tomoko Kawakami

世界のビーチを10年かけて旅した旅行ライターが本気で感動したビーチ

©123RF.COM



Cala Pilar, Menorca, Spain

スペイン・メノルカ島の北海岸に位置するビーチ「カラ・ピラール」

©Robert Harding Picture Libr., Ltd / Getty Images



Playa Limón, Samaná, Dominican Republic

ドミニカ共和国北東部にあるビーチ「ブラヤリモン」

©wanderluster / Getty Images



Playa Holbox, Isla Holbox, Mexico

メキシコのユカタン半島に位置する小さな島「イスラ・ホルボックス」のビーチ

©123RF.COM



Bathsheba, Barbados

カリブ海に位置する島国の一つ、バルバドスのビーチ「バトシェバ」

©Yulia Reznikov / Getty Images



Calanque d'En-vau, Cassis, France

フランスのマルセイユ近郊のカランク国立公園にある「カランク・ダンヴォー」

これまで63カ国を訪れ、20年のキャリアを持つアメリカ人女性のトラベルライター、リディア・スウィンスコーが“女性の一人旅にも最適”とお勧めする世界のビーチを米国版のデジタル記事で紹介している。

まずは、休暇を静かに過ごしたい人にぴったりのビーチが356の海岸を誇るスペイン・メノルカ島の北海岸に位置する「Cala Pilar(カラ・ピラール)」。赤い砂浜と青い海だけ、カフェもバーもないビーチは最高の隠れ家だ。そして、観光地化されていない手付かずの自然が魅力で、長閑な雰囲気だったのがメキシコ・ユカタン半島の北西部「Isla Holbox(イスラ・ホルボックス)」のビーチ。真っ白の砂浜と水平線まで一直線に広がる青い海。人影もまばらなビーチで、美味しい魚料理の夕食をいただいた幸せな記憶。もっともこちらは現在、人気のビーチへと変貌を遂げ、世界中から人が集まっているとか。

豊かな自然に癒やされたい人はワイルドな自然を堪能できる、ドミニカ共和国の「Playa Limón(ブラヤリモン)」へ。人工的に切り開かれたビーチではなく、荒々しい海本来の姿が楽しめる場所だ。起伏に富んだ海岸は、万人受けはしないものの、世界一美しいビーチだと絶賛されている。

そして絵葉書になりそうな美しい景観が満喫できるビーチを3つ厳選。まずは、荒々しい波が力強く押し寄せるバルバドスのビーチ「Bathsheba(バトシェバ)」。泳ぐには適していないが、高い丘から眺める、波により独特の形に浸食されたビーチの景色は息を呑むほど美しい。南仏の可愛い港町、カシにある石灰岩のビーチ「Calanque d'En-vau(カランク・ダンヴォー)」はフランスが世界に誇る景勝地。氷河期時代に起きた地殻変動で生まれた入り江にある断崖絶壁からビーチを望む絶景は格別。絵になるビーチと言えば、オーストラリアのウィットサンデー諸島にある「Whitehaven(ホワイトヘブン)」ビーチもお忘れなく。ターコイズブルーの海と7キロにも及ぶ真っ白な砂浜。その自然が織りなす美しい景色に魅了され、何度も足を運ぶ人が絶えないビーチの一つ。まだまだ世界には、大自然を感じさせてくれる、素晴らしいビーチがいっぱい。この夏、自分だけのお気に入りビーチを探す旅に出てみては？

©123RF.COM



Whitehaven Beach, Whitsunday Island, Australia

オーストラリアのグレートバリアリーフに位置するビーチ「ホワイトヘブン」

蟹座 Cancer 6月22日→7月22日★7月25日の新月では見た目のアップデートが吉！イメージを変えてみると、思わぬ変化がありそう！金運は衝動買いしないように注意。使い方には工夫するように意識してみよう。

双子座 Gemini 5月21日→6月21日★あなたが持つアイデアを発信していくことでチャンスを引き寄せていけそう。周りに遠慮せず、自分の考えはしっかり伝えていくこと。金運は思ってもみなかったところからの収入に期待！



1



2



3



4



8



7



N21 リアルクローズにフォーカスした今回のコレクション。パワージャケットにレイヤードしたジップ付きのシャツはライトジャケットとして一枚でも活躍するアイテム。ジャケット¥173,800 シャツ¥129,800 パンツ¥118,800 (すべてヌメロ ヴェントウーノ/イザ)



Dior 2025年フォール コレクションから着物のシルエットにインスパイアされたディテールのシャツが登場。洗練されたデザインが光るタイムレスな一篇をワードローブに加えて。シャツ¥410,000 パンツ¥450,000 (ともにディオール/クリスチャン ディオール)



5



6

Just Shirt

最旬シャツを主役に秋ヘスウィッチ

ビジュをあしらったディテールコンシャスなシャツから、表情豊かなモチーフの柄シャツまで、一枚でサマになる主役級のシャツが勢揃い。秋本番まで活躍する本命シャツを探して。

styling: Mutsuko Matsukawa
text: Miyuki Kikuchi

1. Gucci 胸元に花柄、襟元には蜂、袖口には蝶々のカットワークがあしらわれ、エレガント。首元後ろに付属する紐でスタイルをアレンジできる遊び心のある一篇。シャツ¥297,000(グッチ/グッチ クライアントサービス) **2. Loewe** 水彩画のようなロマンティックなフローラルが描かれたシャツはコーデの主役になる一点。シャツ¥168,300(ロエベ/ロエベ ジャパン クライアントサービス) **3. McQueen** タトゥーアートワークをステンシル刺繍で表現したユニークで革新的なデザイン。シルバーのスパンコールにツイストしたビーズ、クリスタルを巧みな職人技で組み合わせたドラマティックな一篇。シャツ¥379,940(マックイーン/アレキサンダー・マックイーン クライアントサービス) **4. Jil Sander** ベリーカラーの小花柄が印象的なボクシーシャツはシンプルなパンツやデニムに合わせて着こなしたい。シャツ¥308,000(ジル サンダー/ジルサンダージャパン) **5. Chloé** パフスリーブとVネックに施された花柄のラッフルが"クローエガール"を彷彿とさせるフェミニンな一篇。真夏のリゾートスタイルにもタウンにもマッチ。プルオーバートップス¥314,600(クロエ/クロエ カスタマーリレーションズ) **6. Brunello Cucinelli** 超軽量コットンオーガンザにストライプのスパンコールをあしらった軽やかでラグジュアリーなアイテム。オーバーサイズでエフォर्टレスな雰囲気がある大人の女性にこそ似合う一篇。シャツ¥946,000(ブルネロ クチネリ/ブルネロ クチネリ ジャパン) **7. Stella McCartney** 1970年代のテラリングに、手作業で施されたビジュが遊び心とグラマラスさをプラス。シャツ¥244,200(ステラ マッカートニー/ステラ マッカートニー カスタマーサービス) **8. Saint Laurent** ノスタルジックなタータンチェックがこの秋新鮮。タイをリボンに結んだり、そのまま垂らしてハンサムに着こなしたりアレンジは自由自在。"カサンドラ ラヴァリエシャツ"¥195,800(サンローラン バイ アンソニー・ヴァカレロ/サンローラン クライアントサービス)



1



2



3



8



7



〈右〉Fendi 創業100周年を迎えた「フェンディ」の最新コレクションから、軽やかなデニムが登場。大ぶりのフローラルが咲き誇るデニムジャケット×パンツに同素材のバッグとサンダルをON。ジャケット¥236,500 パンツ¥200,200 バッグ"ビーカプー アイシーユー プチ"¥638,000 ピアス¥145,200 サンダル¥113,300 サン格拉斯¥72,600 (すべてフェンディ/フェンディ ジャパン)
〈上〉Etro プレフォールコレクションのデニムドレスは女性らしいフォルムとコルセット風のディテールやフリンジが動きと遊び心を添えて。ドレス¥467,500 バッグ¥682,000[参考色] リング¥79,200 ネックレス(鍵モチーフのアイテム)¥159,500 シューズ[H7.5cm] ¥209,000 ソックス¥71,500(すべてエトロ/エトロ ジャパン)



4



5



6

Denim Force

この秋、大人はデニムで勝負する

デニム素材のドレスやセットアップで楽しむデニムonデニム、リクスなデニム小物……カジュアルの域を超え、洗練されたデニムが、この秋はワードローブのパワーアイテムとなる。

styling: Mutsuko Matsukawa
text: Miyuki Kikuchi

1. Dior グラデーションが美しいデニム地に苧葉をモチーフとした刺繍と煌めくビーズの装飾をあしらった華やかでエレガントなサドルバッグが新たに仲間入り。バッグ"サドル" [W25.5×H20×D6.5cm] ¥840,000(ディオール/クリスチャン ディオール) **2. Louis Vuitton** 「レイ・ヴィトン × 村上隆」コレクションからチェリー柄がユニークなハットがラインナップ。帽子¥160,600(ルイ・ヴィトン/ルイ・ヴィトン クライアントサービス) ※同コレクションは、オンラインストアおよび一部の店舗のみで取り扱い **3. Gucci** 植物由来の天然繊維のコットンを使用したジャカード織りのデニム仕立て。同色の花柄刺繍とバンブーハンドルが和のムードを添えて。バッグ"グッチ ダイアナ" [W27×H24×D11cm] ¥649,000(グッチ/グッチ クライアントサービス) **4. Hermès** メジンの犬の首輪から着想を得たベルト「コリエド・シアン」から、ロックなテイストはそのままにデニム素材でデイリーに楽しめる一本が登場。ベルト"コリエド・シアン" ¥482,900(エルメス/エルメスジャパン) **5. Giorgio Armani** リラックスムード漂うソフトな肌触りの上品なデニムドレスは、パカンスでもタウンでも映えるエレガントな一篇。ドレス¥583,000(ジョルジオ アルマーニ/ジョルジオ アルマーニ ジャパン) **6. Ferragamo** デニムのアップバーにレザーヒールを組み合わせ、エレガントな一足に。伸縮性のあるインサートで履き心地も抜群。シューズ[H3cm] ¥115,500(フェラガモ/フェラガモ・ジャパン) **7. Loewe** 「フラメンコバッグ」から着想を得たデニムパンツは、ウエスト部分がバッグ同様にフリルになっているのがアイコニック。パンツ"フラメンコ ジーンズ"¥168,300(ロエベ/ロエベ ジャパン クライアントサービス) **8. Prada** ヴィンテージ加工を施したデニムにレザーインサートのコントラストでエッジを利かせて。ドレスやフェミニンなパンツに合わせて楽しみたい。ジャケット¥522,500[予定価格](プラダ/プラダ クライアントサービス)

The Watch Trend

ヴィンテージ、小ぶり、ニュアンスカラー

2025年注目の時計トレンドとは？

今年もさまざまな時計ブランドから魅力的な最新作が続々登場。伝統を継承しながら進化を遂げたモデルから、技術と美の粋を極めた逸品まで、手元に宿る小さな宇宙が新しい時代の流れを告げる。

text: Norio Takagi (P14)
WG=ホワイトゴールド、YG=イエローゴールド、PG=ピンクゴールド、PT=プラチナ、SS=ステンレススチール



ケース径は34mm、厚さわずか6.4mmのコンパクトなサイズながら、パワーリザーブを72時間まで延ばし、機能性も追求。ジェンダーレスで身につけられる静謐な美しさが魅力。時計「1815」[PG、アリゲーターストラップ、ケース径34mm、手巻き] ¥3,850,000 (A.ランゲ&ゾーネ)



タイムレスな魅力を放つ「カトラバ」からプラチナ仕様の新モデルが誕生。ローズゴールドめっきオバーリンの文字盤がヴィンテージタッチの趣を添える。時計「カトラバ 6196P」[PT、アリゲーターストラップ、ケース径38mm、手巻き] ¥7,460,000 (パテック フィリップ／パテック フィリップ ジャパン・インフォメーションセンター)



1928年に発表された斬新なデザインの時計「タンク ア ギシェ」を再解釈。時表示と分表示の小窓を12時、6時位置に配した誕生当初のデザインと、小窓が斜めに配置されたプラチナ製モデルの二つのデザインが揃う。時計「タンク ア ギシェ」(左) [PG、アリゲーターストラップ、ケース37.6×24.8mm、手巻き] ¥7,590,000 [予定価格、9月発売予定] (右) [PT、アリゲーターストラップ、ケース37.6×24.8mm、手巻き] ¥9,702,000 [予定価格、9月発売予定、世界限定200本] (ともにカルティエ／カルティエ カスタマー サービスセンター)

クラシック回帰、ケースの小径化もさらに進む

時計ジャーナリスト 高木教雄

足から6年、対面形式が実現してから4回目を迎えた今年の「ウォッチズ アンド ワンダーズ ジュネーブ (W&WG)」への出展数は、昨年より6ブランド増え、計60ブランドにまで達した。

彼らが会場で披露した新作を俯瞰した結果、見えてきた今年のキーワードは、「ヴィンテージ」「小ぶり」「ニュアンスカラー」。クラシック路線は、昨年すでに兆候が見られたが、それがより顕著になった。それに伴い、ケースの小径化も進んでいる。これらを象徴するモデルが、34mmの新サイズが加わった「A.ランゲ&ゾーネ」の「1815」。会場では、販売店からもメディア関係者からも高評価を受けていた。

「パテック フィリップ」と「カルティエ」からは、クラシカルな往年の名作がカタログに帰還。「ゼニス」は、1940～1960年代に傑作と称賛された手巻きムーブメントを復活させた。

そのダイヤルカラーであるブルーは、再びトレンド化の傾向にある。「シャネル」は、新たなセラミックを開発し、アイコンである「J12」に深淵なブルーをまとうせた。またこれまでブルーダイヤルの大半はネイビーが占めてきたが、アイスブルーのような淡い色調がいくつものブランドから登場しているのは、新たな潮流である。

そしてブルーに限らず、「ロレックス」が提示したラベンダー、ベージュ、ビスタチオといったニュアンスカラーが他社からも登場し、一気に数を増やした。「ピアジェ」が古くから得意としてきたストーンダイヤルは、これまでニッチな存在だったが、今年は多くのブランドが試みていたのは、新たな表現を模索した結果なのだろう。

素晴らしい複雑時計、革新的な新ムーブメントもいくつか見られたが、それ以上に今年は外装の審美性を高めることに重点が置かれたとの印象だった。「ヴァシュロン・コンスタンタン」が創業270周年を記念して製作した三つのユニークピース「レ・キャビノティエトゥール・ド・リル」へ敬意を表してのようなメティエダール (芸術的な手仕事) は、その頂点となる作品である。

スイス時計業界は、2022年、2023年の記録的な急成長から、昨年マイナスに転じた。ヴィンテージスタイルの台頭や外装の上質化が図られたのは、原点に立ち返り、真摯に時計製作に向き合った帰結であろう。そして多様化した華やかなダイヤルカラーが、時計界の未来を明るく照らす。



アイコンウォッチ「J12」から誕生した初のマットなブルー セラミックモデル「J12 BLEU」。5年をかけて開発された特別な青が印象的。時計「J12 BLEU キャリバー 12.2」[高耐久性マットブルーセラミック×SS×ブルーサファイア、ケース径33mm、自動巻き] ¥3,971,000 [発売の可能性あり] (シャネル／シャネルカスタマーケア)



創業160周年を祝い、伝説のムーブメントを復活させたスペシャルエディション。三つのパートで構成されたブルーの文字盤が美しく映える。時計「G.F.J.」[PT、ダークブルーアリゲーターレザー、ブラックカーフレザー、ブルーサファイア、3本のストラップが付属、ケース径39mm、手巻き] ¥6,952,000 (ゼニス／LVMH ウォッチ・ジュエリー・ジャパン セニス)



コンパクトな28mmのケースに、合計6層のラッカーを重ねた、均一で美しい発色のラベンダーカラーのダイヤル。「W&WG」では軽やかなベージュとビスタチオのマット仕上げのバスターカラーダイヤルも発表された。時計「オイスター パーベチュアル 28」[SS、ケース径28mm、自動巻き] ¥855,800 (ロレックス／日本ロレックス)



1970年代にウォールが愛したことに由来し、「ピアジェ」とアンディ・ウォール美術財団のパートナーシップにより、正式にウォールの名前がつけられたウォッチ。今回は表情豊かなデザインで登場。時計「アンディ・ウォール ウォッチ」[WG×ブラウンタイガーズアイ、アリゲーターストラップ、ケース45×43mm、自動巻き] ¥8,492,000 (ピアジェ／ピアジェ コンタクトセンター)



メゾンのレ・キャビノティエ工房は、ジュネーブを象徴しメゾンともゆかりのある歴史的建造物「トゥール・ド・リル (島の塔)」に敬意を表し、エナメルやエンゲレビングの芸術的な装飾を施したユニークピース3部作を発表。時計「レ・キャビノティエ・トゥール・ド・リル」へ敬意を表して、(左から) [PT×WG製文字盤、ケース径40mm、自動巻き] [PT×YG製文字盤、ケース径40mm、自動巻き] [PG×PG製文字盤、ケース径40mm、自動巻き] すべてユニークピース (すべてヴァシュロン・コンスタンタン)



1.期間中は広場や通りでもイベントが行われ、街ぐるみで「W&WG」の開催を盛り上げる 2.モンブラン橋の上にずらりと並んだ「W&WG」の旗 3.会場の「パレクスボ」の広大な空間には、名だたる時計メゾンのラグジュアリーなブースがずらりと並び 4.新作のイメージに合わせたブースや芸術的なディスプレイは見て回るだけでも心躍る

世界最大の時計見本市 Watches and Wonders Geneva

スイスのジュネーブで毎年開催される、世界最大級の時計見本市「ウォッチズ アンド ワンダーズ ジュネーブ (W&WG)」。今年は、4月1～7日に開催され、初参加の「ブルガリ」を始め60ブランドが出展。過去最高の5万5000人以上が来場し、一般公開日には2万3000枚のチケットが販売された。この7日間、ジュネーブの街は時計の世界一色に染まる。レマン湖のモンブラン橋の上では「W&WG」の旗がはためき、街のあちこちで関連したイベントも開催されていた。今年は富裕層向けに、優先アクセスやラウンジ使用、スペシャルギフトなどが用意されたVIPパスの販売も始まったというから、単なる見本市ではなく、ラグジュアリーな体験型イベントとしてのあり方にも今後ますます注目が集まりそうだ。

New Timepiece

注目ブランドの話題作をその手に

WG=ホワイトゴールド、YG=イエローゴールド、PG=ピンクゴールド、SS=ステンレススティール



1. Breguet 創業250周年に合わせて、独自の合金「ブレゲゴールド」を発表。温かい色調のゴールドが、ブルーの半透明エナメルで彩られたギョシュ彫り文字盤やレトログランドセコンドを際立たせて。時計「トラディション 7035」[ブレゲゴールド、アリゲーターストラップ、ケース径38mm、自動巻き] ¥7,029,000 [世界限定250本] (ブレゲ/ブレゲ プティック銀座) **2. Franck Muller** ムーブメント上にダイヤモンドでかたどった6つの花をセッティング。コンプリケーションウォッチをハイジュエリーへと昇華させた至高の一本。時計「トノウ カーベックス スケルトン ダイヤモンド」[PG×ダイヤモンド、クロコダイルストラップ、ケース43×31mm、手巻き] ¥17,600,000 [予定価格・発表時期未定] (フランク ミュラー/フランク ミュラー ウォッチランド東京) **3. Louis Vuitton** 回転するキューブで時を表示する、メゾン独自の革新的なムーブメントを搭載。シックなドルフィングレーの色合い、ダイヤモンドの煌めきが洗練されたムードを醸して。時計「タンブール タイコ スピン・タイム ダイヤモンド」[WG×ダイヤモンド、ラバーストラップ、ケース径39.5mm、自動巻き] ¥23,430,000 (ルイ・ヴィトン/ルイ・ヴィトン クライアントサービス) **4. Dior** メゾンのシグネチャーである「カナージュ」モチーフを配したアイコンコレクションから、ターコイズカラーのダイヤルが美しく映える新色モデルが登場。時計「ラ デ マイ ディオール」[YG×ダイヤモンド、ターコイズラッカーダイヤル、ケース径19mm、クォーツ] ¥6,600,000 [予定価格] (ディオール タイムピース/クリスチャン ディオール) **5. Chopard** 宇宙の美から着想を得たアベンチュリンガラスのブルーの文字盤。クラウンセッティングにより輝きを最大限に高めたダイヤモンドが、神秘的な美しさを引き立てて。時計「ルール・ドゥ・ディアン ムーンフェイス」[エシカルホワイトゴールド×ダイヤモンド、アリゲーターストラップ、ケース径35.75mm、自動巻き] ¥15,829,000 [ショパールプティック限定販売] (ショパール/ショパール ジャパン プレス) **6. Hublot** メゾンを代表するコレクション「ビッグ・バン」が誕生20周年を迎え、多彩なバリエーションで登場。明るく涼しげなミントグリーンセラミックのモデルは、他にはないスタイリッシュな表情。時計「ビッグ・バン ワンクリック ミントグリーンセラミック ダイヤモンド」[ミントグリーンセラミック×ダイヤモンド、ラバーストラップ、ケース径33mm、自動巻き] ¥2,398,000 (ウブロ/LVMHウォッチ・ジュエリー ジャパン ウブロ) **7. Longines** ベストセラーの「ドルチェヴィータ」をコンパクトに、優美なデザインに再解釈した最新作。イエローゴールドとのバイマテリアルがエレガントなモデルも登場。時計「ミニドルチェヴィータ」[SS×YG×ダイヤモンド、ケース21.5×29mm、クォーツ] ¥1,135,200 (ロンジン) **8. Grand Seiko** 30mmまで小型化したメカニカルモデルは、桜の花を雪が覆い隠す「桜隠し」から着想を得たデザイン。繊細な型打ち模様とグレイッシュなピンク色に魅了される。時計「Heritage Collection 62GS メカニカル 30mm STGK031」[SS、ケース径30mm、自動巻き] ¥880,000 (グランドセイコー/セイコーウォッチお客様相談室) **9. Tag Heuer** バウダリーピンクのダイヤルとダイヤモンドの輝きが、スポーティなデザインをフレッシュに彩る。女性らしさとモーターレーシングのスピリットが見事に融合。時計「タグ・ホイヤー カレラ クロノグラフ」[SS×ダイヤモンド、カーフレザーストラップ、ケース径39mm、自動巻き] ¥1,287,000 (タグ・ホイヤー/LVMHウォッチ・ジュエリー ジャパン タグ・ホイヤー)

射手座sagittarius 11月22日→12月21日★出会いは予想を超えた場所にあり！理屈ではなく直感で惹かれる人との縁を大切に。7月18日以降は早とちりや誤解に注意。丁寧に言葉で対話していくことが鍵になりそう。

marie claire

26th June, 2025



Refined Time

「洗練」という名の時を纏う

〈上から時計回りに〉CARTIER, ROLEX, OMEGA, BVLGARI

Dream Moments

美しさを競うレディスウォッチ 最新作

時を刻むとともに、ジュエリーのような煌めきを放つ優雅なレディスウォッチ。手元を見るたびに、心躍る瞬間が訪れる珠玉のタイムピースがここに勢揃い。

2025年の最新作を厳選してご紹介。

text: Keiko Homma (P4)
WG=ホワイトゴールド、YG=イエローゴールド、PG=ピンクゴールド、SS=ステンレスティール

心に響く エモーショナルなデザインに注目

ジュエリー・時計ジャーナリスト 本間恵子

今年前半に、スイスを中心にして新作時計を発表する国際イベントが相次ぎ、浮かび上がってきた最新のワールドト

レンド。キーワードのひとつは「ジェミー」だ。ヒスイやターコイズなど色鮮やかなジェムストーンを文字盤にしたゴージャスなモデルが、「ショパール」を始めいくつかのメゾンから登場。今、ジュエリーの世界ではダイヤモンドよりもカラージェムの方が人気。そんな風潮が時計界にも押し寄せてきているのかもしれない。

また、今年は「オーデマ ピゲ」が創業150周年、「ブレゲ」が創業250周年、「ヴァシュロン・コンスタンタン」が創業270周年のアニバーサリー。周年記念モデルにハズレなしとよくいわれるが、老舗メゾンの威信をかけたモデルには特別なエレガンスがあり、手に取るだけでため息が出てしまう。

もうひとつの注目キーワードは「ジュエリーライク」だ。華やかな美しさを追求し、時計がジュエリーにどんどん近づいていく。手首というお決まりの場所から飛び出し、身体を自由に飾ってくれる。「シャネル」から登場したのはネックレス型のシークレットウォッチ。「エルメス」はソートワール(ロングペンダント)にもなるブローチ型ウォッチを発表して熱い視線を浴びた。

予想もしなかった楽しさや、目が離せなくなるような美しさがあること。それがラグジュアリーウォッチの醍醐味。心に響くエモーショナルなデザインが、2025年の最旬ウォッチトレンドだ。

cover
cover photo: Toshimasa Ohara
realization: Asaka Ikeda

時計《上から時計回り》”バンテールドゥ カルティエ” [PG×ダイヤモンド、ケース25×20mm、クォーツ] ¥5,570,400 [予定価格、9月発売予定] (カルティエ／カルティエ カスタマー サービスセンター) “デイトジャスト31” [YG×ダイヤモンド、ケース径31mm、自動巻き] ¥7,327,100 (ロレックス／日本ロレックス) “シーマスター アクアテラ 30MM” [ムーンシャイン™ゴールド×SS×ダイヤモンド、ケース径30mm、自動巻き] ¥2,750,000 (オメガ) “セルバンティ” [SS×ダイヤモンド、ケース径34mm、自動巻き] ¥1,573,000 (ブルガリ／ブルガリ・ジャパン)

ヒスイを文字盤に配し、ベゼルにはダイヤモンドが燦然と輝き、まさにジュエリーの趣き。メゾン独自の技法であるクラウンセッティングによってダイヤモンドの美しさを最大限に引き立たせている。時計”ルール・ドゥ・ディアマン” [エシカルホワイトゴールド×ダイヤモンド、アリゲーターストラップ、ケース径26mm、手巻き] ¥4,950,000 (ショパール／ショパール ジャパン プレス)

メゾンのアイコニックなリップスティックに着想を得たネックレス ウォッチ。リップスティックを上下にスライドすると、ブラックのダイヤルが顔を覗かせる。時計”シークレット ウォッチ リップスティック” [ブラックコーティングを施したチタン×YG×ベリル×ブラックラッカーダイヤル、YGチェーン×ロードライトビーズ×オニキスチューブ×ダイヤモンド、ダイヤルサイズ10×10mm、クォーツ、世界5点限定] ¥58,190,000 (シャネル／シャネル カスタマーケア)

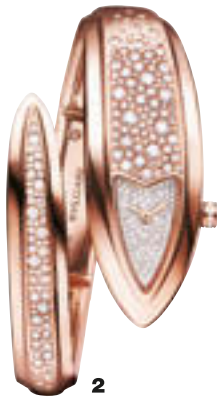
© Joël Von Allmen

アイコニックなアンカーチェーンのコマを再解釈したブローチ時計が誕生。ダイヤモンドの煌めきに、クッションシェイプのトルマリンが魅惑的なアクセントを添えて、レザーコードを通してペンダントとして身につけることも可能。時計”マイヨンリーブル ブローチ” (左) [WG×ダイヤモンド×トルマリン×マットオニキス、ケース35×23mm、クォーツ] ¥12,078,000 (右) [PG×ダイヤモンド×トルマリン、ケース35×23mm、クォーツ] ¥11,275,000 [ともに予定価格、12月頃発売予定] (ともにエルメス／エルメス・ジャパン)

© Cartier



1



2



3



4



5



6



7

© Joël Von Allmen



8



9

ジュエリーのような華やきを添える時計たち

1. Cartier 螺旋状のフォルムを描くゴドルン装飾が、彫刻のように独創的な存在感を放つ最新作。時計”トレサージュドゥ カルティエ” [YG×ブラックラッカー、シャイニーブラックレザーストラップ(ブラックムーสลエザーストラップも付属)、ケース径56.2×25.7mm、クォーツ] ¥6,336,000 [予定価格、9月発売予定] (カルティエ／カルティエ カスタマー サービスセンター) **2. Bulgari** 「ブルガリ」を象徴するヘビのモチーフ”セルバンティ”を限りなく様式化し、モダンに再解釈。時計”セルバンティ エテルナ” [PG×ダイヤモンド、S145mm、L155mm、クォーツ] ¥11,341,000 [9月発売予定] (ブルガリ／ブルガリ・ジャパン) **3. Van Cleef & Arpels** 夜のバリの街角を舞台に、オートマタのモジュールによって恋人たちが、正午と真夜中に口づけを交わすロマンティックなウォッチ。時計”レディ アーペル パール デ ザムルー オートマタ ウォッチ” [WG×ダイヤモンド×エナメル、アリゲーターストラップ、ケース径38mm、自動巻き] ¥24,948,000 (ヴァン クリーフ&アーペル／ヴァン クリーフ&アーペル ル デスク) **4. Rolex** スリムなケースとブレスレットがシームレスに繋がるデザインが特徴の話題作。繊細なハニカムモチーフのダイヤルも印象的。時計”オイスター パーベチュアル ランドゥウエラ 36” [エバーローズゴールド×ダイヤモンド、ケース径36mm、自動巻き] ¥13,346,300 [予定価格・今夏発売予定] (ロレックス／日本ロレックス) **5. Patek Philippe** 特徴的な波型の装飾とエレガントなアズールブルーのラッカー仕上げ、ダイヤモンドの輝きが美しく調和する。時計”レディス・ノーチラス 7010/1” [WG×ダイヤモンド、ケース径(10-4時方向)32mm、クォーツ] ¥9,500,000 (パテック フィリップ／パテック フィリップ ジャパン・インフォメーションセンター) **6. Vacheron Constantin** 創業270周年の歴史を讃える優美な周年記念モデル。ダイヤルにはメゾンを象徴するマルタ十字の装飾、手巻きムーブメントには周年記念の刻印も施されている。時計”トラディショナル・ムーフェイス” [PG×ダイヤモンド×マザーオブパール、アリゲーターレザーストラップ、ケース径36mm、手巻き] ¥7,172,000 [6月26日現在、7月1日より¥7,392,000] (ヴァシュロン・コンスタンタン) **7. Chanel** 誕生から25年の節目を迎えた”J12”より、ダイヤルにバケットカット ダイヤモンド、ブレスレットに初めてセラミックとイエローゴールドを組み合わせた、よりプレシャスなモデルが登場。時計”J12 CALIBER 12.2” [高耐久性ホワイト セラミック×YG×ダイヤモンド、ケース径33mm、自動巻き] ¥5,181,000 (シャネル／シャネル カスタマーケア) **8. Hermès** 時間の流れを自在に操る、「エルメス」らしいユニークな複雑機構を搭載した新モデル。大胆な造形が美しいピンクゴールドのケースにダイヤモンドが上品な輝きを添える。時計”エルメス カット タンジュスボンデュ” [PG×ダイヤモンド、ケース径39mm、自動巻き] ¥8,382,000 [予定価格、8月頃発売予定] (エルメス／エルメス・ジャパン) **9. Omega** 日本人女性の手首にも程よい30mmのケースに最新ムーブメントを搭載したモデルが登場。鮮やかなグリーンのダイヤルが美しく映える1本を選んで。時計”シーマスター アクアテラ30MM” [ムーンシャイン™ゴールド×ダイヤモンド、ケース径30mm、自動巻き] ¥5,830,000 (オメガ)

OMEGA

「オメガ」の 新たな章が始まる “アクアテラ”に 込められた 美しい秘密

洗練されたフォルムと高い機能性で
人気を誇る、「オメガ」の
“シーマスター アクアテラ”。
小型の自社ムーブメントを搭載した
コンパクトな30mmが新たに12モデル
お目見え。現代女性に寄り添い、
さらに進化を遂げた最新ウォッチの
魅力にクローズアップ。

photo: Toshimasa Ohara (aosora)
realization: Asaka Ikeda

1 848年にスイスで誕生した
「オメガ」。1894年に高精
度のキャリバーを発表し
たことで、一躍その名は世界中で知ら
れる存在に。時代と共に進化し続ける
のは、ギリシャ語で「究極」を意味する
ブランド名ならではの所以。

その精神はレディスウォッチにも息
づいており、懐中時計が主流の1902
年からさまざまな女性用モデルが発
表されている。例えば1937年に登場し
た“メディカス”は、看護師として活躍
する女性が脈を測るために秒針が見
やすいデザインに。また1955年にはブラ
ンド初となる女性用自動巻き時計“レ
ディマティック”が登場。世界最小の
ローターを搭載したこのモデルは、当
時のあらゆる時計の中でも高い性能
を備えており、独創的なデザインと革
新的なテクノロジーが融合する次世
代のレディスウォッチとして話題を集
めた。

そして現在、ウォッチメイキングの先
駆者として新しい価値を生み出し続け
る「オメガ」は、世界トップレベルの耐
磁性能をもつマスター クロノメーター
ムーブメントの小型化に成功。コンパ
クトな最新ムーブメントを搭載した30
mmの“シーマスター アクアテラ”は、大
きいケース径モデルに匹敵する高い
機能性を誇る逸品。最先端のテクノロ
ジーとタイムレスなデザインを兼ね備
えた「オメガ」のタイムピースは、今を生
きる女性と共に躍進する。

新たに登場した“シーマスター アクアテラ 30MM”は、コレクション初の30mmモデル。直径20mmのコンパクトな最新ムーブメントが搭載され、高い機能性と端正なフォルムが融合するモダンな一本に仕上がっている。全12モデルの中から、ブラックやグレー、パープルと、発色の美しいダイヤルをピックアップ。プレスレット部分は、ポリッシュとサテン仕上げに。時計“シーマスター アクアテラ 30MM”〈右〉[SS、ケース径30mm、自動巻き]¥968,000
〈中〉[SS×ダイヤモンド、ケース径30mm、自動巻き]¥2,002,000 〈左〉[SS、ケース径30mm、自動巻き]¥968,000(すべてオメガ)



ブランド独自のムーンシャイン™ゴールドが手元を華やかに彩る新作モデルも登場。一体型プレスレットは、特許を取得したスクリュー＆ピンシステムとプッシュボタンのついたバタフライクラスプにより、腕にぴったりと合わせられるように。時計“シーマスター アクアテラ 30MM”〈左〉[ムーンシャイン™ゴールド×ダイヤモンド、ケース径30mm、自動巻き]¥5,874,000〈右〉[ムーンシャイン™ゴールド×SS、ケース径30mm、自動巻き]¥1,617,000(ともにオメガ)



〈右〉1906年に発表されたレディスウォッチ“レ
ビン”は、12時のインデックスが3時位置に配
された一本。当時発売されていたレッドゴールド
製のペンダントウォッチがベースになったユニ
ークなデザイン 〈左〉1955年に発表された初
の女性用自動巻き腕時計“レディマティック”。
世界最小ローターにより、レディスウォッチのバ
イオニアとしての地位が不動のものに



人の手が加わっていない自然本来の姿に強く惹きつけられた創業者のフレデリック・ブシュロン。クリエイティブ・ディレクターのクレールは、過去の作品に新たな視点をプラスして、大胆で革新的な装いを想定した作品を発表。「身につけることで心を動かす、マルチウェアラブルな作品。金庫の中にしまっておく宝石ほど悲しいものはありません」とエレヌ。イヤリング「シクラメン」[ダイヤモンド×WG] ¥40,260,000 ネックレス〈左〉(ブローチ、ヘッドピースとしても使用可能)「リエール」[ダイヤモンド×WG] ¥236,280,000 ネックレス〈中央〉「ロジェ」[ダイヤモンド×WG] ¥489,720,000 [すべて予定価格] (すべてブシュロン／ブシュロン クライアントサービス)



「ジェンダーレス」を掲げる「ブシュロン」。エレヌは、「ジェンダーを意識しない、それを超えたハイジュエリーです。お客様には自分を最もうまく表現できるピースを選んでいただきたいです」。〈上から時計回りに〉ブローチ「シャルドン」[ダイヤモンド×WG] ¥82,500,000 リング(ブローチとしても使用可能)「ブルドン」[ダイヤモンド×オニキス×ロッククリスタル×マザーオブパール×WG×スティール(マグネット)×ブラックラッカー(翹部分)] ¥48,972,000 リング(ブローチとしても使用可能)「スカラベ リノセロス」[ダイヤモンド×ロッククリスタル×マザーオブパール×WG×ブラックラッカー] ¥36,828,000 [すべて予定価格] (すべてブシュロン／ブシュロン クライアントサービス)

BOUCHERON

「プレシャス」の定義を超えて クリエイティブの限界に 挑戦し続ける「ブシュロン」

名門ジュエラーとしての伝統を継承しながら、業界を牽引するサステナブルな取り組みにも積極的な「ブシュロン」。
2015年に女性初のCEOに就任したエレヌ・プリ＝デュケン氏のもと
スタートした、年2回発表されるハイジュエリーコレクションも
既成概念を超えた革新的なクリエイションで高い評価を受けている。

text: Tomoko Kawakami

創 業者のフレデリック・ブシュロンにより、
1858年にパリで誕生した「ブシュロン」
は、パリ・ヴァンドーム広場に最初に店

舗を構えたジュエラーとしても知られている。その老舗ジュエラーの女性初のCEOであるエレヌ・プリ＝デュケン氏は、2015年からメゾンの舵取りを担い、クリエイション、そしてビジネスを牽引してきた。「就任以来、クリエイティブ・ディレクターのクレール・ショワヌと2人で創業者の足跡を辿り、その思想を継承し、常に革新性を追求することで、限界の枠を押し広げてきました。フランスの老舗ジュエラーの中でも、『ブシュロン』は、唯一、2人の女性がトップを務めるメゾン。私の役割の一つは、クレールらしいイノベーションや創造性をメゾンのハイジュエリーコレクションで表現できるようにさまざまな面でサポートし、彼女や職人たちの背中を押していくことです」

**義務感ではなく信念として
サステナビリティに取り組む**

そう語るエレヌは今年、CEOに就任して10年を迎えた。「最大の挑戦はヴァンドーム広場の本店の改装でした。あの歴史的な建物をメゾンの精神を表す空間として、貴族の邸宅のような荘厳さと温かさを持つ空間にしたかった。私は1年以上にわたり、毎週、工事現場を訪ねていました」。パリ本店、そして2023年に東京にオープンした銀座本店もサステナビリティが重要なコンセプトとなっている。「サステナビリティはラグジュアリー業界でも今後ますます重要課題になるはず。私たちは義務感ではなく、信念として取り組んでいるのです。そんな中、まずは新しいパッケージを打ち出すことに着手しました。以前のリサイクルできない素材を見直し、1年かけて作りました。新しいパッケージには、基本的にリサイクル可能なアルミニウムとウールフェルトという2つの素材しか使っていません。さらにブティックにおいては、パリ、東京ともに環境に配慮した建物に対する認証制度を取得しています。店舗で使う家具は、丁寧に修理し、再利用する。加えて、新たに作る際にはサステナブルな素材を使うなど、さまざまな側面からアプローチを推進しています」

**作品そのものではなく、
それを纏う「人」にフォーカスする**

また、エレヌが「ブシュロン」の魅力を世界に届けるために注力しているのが、年に2回ほど発表されるハイジュエリーコレクションだ。「サヴォワール フェールの継承や職人文化の保護は、私たち宝飾業界のコアバリューの一つ。職人たちは、新しい技術や素材を探求し、芸術的なハイジュエリー制作の限界に挑戦することでクレール・ショワヌのデザイン、そして『夢』に命を吹き込んでいく。この業界ではハイジュエリーの作品をあらゆる考えの中心として据えますが、『ブシュロン』は作品そのものではなく、それを纏う『人』にフォーカスし、その方のスタイルと独自性を中心に考えます。今年も1月に続き7月にも自然をテーマにしたハイジュエリーを発表します。自然とは『ブシュロン』にとって、とても重要な要素ですし、我々の歴史の一部を反映したコレクションになっています」



Hélène Poulit-Duquesne / エレヌ・プリ＝デュケン
「ブシュロン」最高経営責任者
フランス生まれ。エセック・ビジネススクールを卒業後、LVMHグループでキャリアをスタート。
1998年にカルティエ・インターナショナルに入社し、インターナショナル・マーケティング・ディレクターなどの要職を歴任。2015年、「ブシュロン」へ入社し、現職に就任。

E

それは、愛の証しであり、自分を誇れるステートメント。
プレシャスなストーンを輝かせる4本爪ソリテールから、
芸術的な美しさを湛えたデザインまで、巧みな職人技で
魅了する至高のエンゲージメントリングをラインナップ。

Engagement Ring

人生を輝かせる運命のリング



Louis Vuitton



Fred



Damiani



Pomellato



Cartier



Harry Winston



Chanel



Chopard



Mikimoto



Dior



Bvlgari



Tiffany & Co.



Van Cleef & Arpels



Tasaki



Wako



Royal Asscher



Graff



Boucheron



Chaumet

Louis Vuitton アイコニックな「LV モノグラムスターカットダイヤモンド」と眩いロヴェルダイヤモンドをふんだんにちりばめたリング。タイムレスかつ大胆でモダンなデザインが現代の花嫁にふさわしい。リング「LV ダイヤモンド」 [PT×LV モノグラムスターカットダイヤ
モンド (2ct) ×ダイヤモンド] ¥14,850,000 ~ (ルイ・ヴィトン / ルイ・ヴィトン クライアントサービス) **Fred** 記憶に残るハートシェイプダイヤとリングの内側にあしらわれた秘密のルビーで2人の永遠の愛を誓って。リング「プリティウーマン エンゲージメントリング」
[PT×ルビー×ダイヤモンド (センター2ct)] ¥9,130,000 ~ (フレッド / フレッド カスタマーサービス) **DAMIANI** 1996年の発表以来「ダミアニ」を代表する「ベル エボック」。幾何学的な石の配置は重厚感がありつつ、イタリアの華やかなオーラが薫るアイコ
ニックな一点。リング「ベル エボック」 [PT×ダイヤモンド (0.7ct)] ¥2,233,000 [参考価格] (ダミアニ / ダミアニ 銀座タワー) **Pomellato** ミッパチの巢を思わせるユニークなデザインにダイヤモンド137粒を贅沢に配し、「ボメラート」らしい遊び心をちりばめ
たモードな一点。個性溢れるリングで愛の誓いを。リング「ヌード」 ソリテール アッソルテリング [WG×RG×ダイヤモンド] ¥2,519,000 (ボメラート / ボメラート クライアントサービス) **Chopard** ロマンティックな「ハート」シェイプの12カラットを超える大粒ダイヤ
モンドが唯一無二の情熱と煌めきで花嫁を魅了。リング「ハイジュエリー コレクション」 [WG×ダイヤモンド (センター12.15ct)] ¥537,504,000 [参考価格] (ショパール / ショパール ジャパン プレス) **MIKIMOTO** 世界中から選り抜かれた希少なダイヤモンド
を使い、一輪の花が大きく開花したような華麗なデザインに。指先で咲き誇る、煌めくフラワーに愛を託して。リング「ミューコレクション」 [PT×ダイヤモンド (センター約5.6ct)] ¥132,000,000 (ミキモト / ミキモト カスタマーズ・サービスセンター) **Dior** うっとりす
るような大粒ダイヤモンドとサイドに配したアシンメトリーな小花で庭園を表現。神々しい輝きを放つダイヤモンドの共演とロマンティックなデザインに心奪われる。リング [WG×ダイヤモンド (センター8.88ct)] ¥420,000,000 [参考価格] (ディオール ファイン ジュエ
リー / クリスチャン ディオール) **TASAKI** ダイヤモンドの最高の美しさを究極にシンプルなデザインで引き出したリングは、愛し合う2人の歓びの象徴。温かみのあるゴールドとのコントラストがさりげなく個性を物語る。リング「ピアチェーレ ソリティア バヴェー リング」
[SAKURAGOLD™×ダイヤモンド (2.05ct)] ¥9,156,400 (TASAKI) **WAKO** センターに大粒のアショカダイヤモンドをセットしたリングは、澄み切った輝きと清らかな水面を連想させる高貴なデザインで日本の美を讃えているよう。和装にも映える格調高い美し
さを誇る一点。リング「アショカ キョウ」 [PT×ダイヤモンド (センター5.93ct)] ¥165,000,000 (和光) **Royal Asscher** 国際パテントを取得する74面体の高貴なロイヤル・アッシャー・カットをメインに両サイドに4石ずつマースカットを施した至高の逸品は大
人ブライズにこそおすすめ。リング「ロイヤル・アッシャー・カット ダイヤモンドリング」 [PT×ダイヤモンド (センター5.19ct サイド1.90ct)] ¥115,500,000 (ロイヤル・アッシャー / ロイヤル・アッシャー カスタマーサービス)

Cartier 時代を超越した力強く美しいラインとセンターヘアシェイプのダイヤモンドが気品と輝きを放って。リング [PT×ダイヤモンド (センター約4ct)] ¥85,800,000 [参考価格] (カルティエ / カルティエ カスタマー サービスセンター) **Harry Winston** 「キン
グ・オブ・ダイヤモンド」と称され世界中の花嫁から支持され続けるメゾンからタイムレスなソリテールリングを。時を超えて愛される一本を手にして。リング「エメラルドカット・クラシック・リング」 [PT×ダイヤモンド (センター約1.25ct)] ¥3,432,000 ~ (ハリー・ウィンストン
/ ハリー・ウィンストン クライアントインフォメーション) **Chanel** ダイヤモンドを纏った羽根と気品溢れるピンクサファイアの彩りが2人の未来に華やかな祝福を捧げる。モダンな感性を宿すエンゲージメントリングが今の気分。リング [WG×PG×ピンクサファイア
(6.72ct) ×ダイヤモンド] ¥94,930,000 [参考価格] (シャネル / シャネル カスタマーケア) **BVLGARI** 普遍的な愛の象徴である4本爪のソリテールこそ、細部にブランドの美学が宿る逸品を。リング「ローマ アモール」 [PT×ダイヤモンド (2ct)] ¥9,801,000
[参考価格] (ブルガリ / ブルガリ・ジャパン) **Tiffany & Co.** 美しい曲線が織りなす神秘的な深海の輝きを表現したリングが登場。海よりも深い愛の証しを一生の宝物に。リング「ブルーブック 2025 シー オブ ワンダー」 [PT×ダイヤモンド (合計3ct以上)] ¥
51,370,000 (ティファニー / ティファニー・アンド・カンパニー・ジャパン・インク) **Van Cleef & Arpels** 創業者2人の結婚から生まれた愛のメゾンならではの優美なリング。崇高な輝きを放つセンターダイヤモンドとアラベスク柄の細工が施されたサイドストー
ンのエキゾチックなデザインが魅力的。リング「アラジン ソリティア」 [PT×ラウンドカット ダイヤモンド (3.14ct)] ¥51,612,000 (ヴァン クリーフ&アーペル / ヴァン クリーフ&アーペル ル デスク) **Graff** まるで太陽のように眩しい輝きで、幸福感を惜しみなく表現
する壮麗なイエローダイヤモンドのリングは、生涯の愛を誓うのに相応しい一本。リング「プロミス」 [PT×YG×イエローダイヤモンド (3.05ct) ×ダイヤモンド] ¥111,600,000 (グラフ / グラフダイヤモンドズジャパン) **Boucheron** 大粒のヘアシェイプダイヤと35粒
の華奢なパールをあしらった唯一無二のデザインは、ヴァンドーム広場に拠を構える名門メゾンの独創的な美意識を物語る。リング「グット ドゥー ベルル リング」 [WG×ダイヤモンド (センター5.01ct) ×カルチャーパール] ¥138,600,000 [予定価格] (ブシュロン / ブ
シュロン クライアントサービス) **Chaumet** ダイヤモンドが浮いているかのように見える伝統的な手法を施した至極の一本は、ティアラに着想を得たデザインが指先で壮麗な美しさを放って。リング「ジョセフィーヌ コレクションエグレット アンベリアル リング」 [PT×
ダイヤモンド (センター3ct)] ¥43,175,000 [参考価格] (ショーム)



©WPA Pool / getty images



©Max Mumby/Indigo / getty images

ロイヤル花嫁の壮麗なティアラは永遠の憧れ

〈左上〉キャサリン皇太子妃が結婚式で纏ったのは、「カルティエ」のティアラ 〈右上〉「ブシュロン」のエメラルドが映える高貴なデザインを選んだユージェニー王女 〈下〉昨年結婚式を挙げたウェストミンスター公爵夫妻。オリヴィア姫はリーフをモチーフとしたエレガントなティアラを着用



Bvlgari

ローマを代表する遺跡、カラカラ浴場を彩るモザイクタイルから着想を得た扇形モチーフが特徴的なデザイン。扇形は幸福を呼び込む縁起のいい象徴とも言われ、ブラダールに最適な一点。ティアラ「ディーヴァ ドリーム」 [WG×ダイヤモンド] [価格要問い合わせ] (ブルガリ／ブルガリ・ジャパン)



Chaumet

メゾンのシンボルでもある「ティアラ」。代々受け継がれる職人技を駆使し、700時間かけて製作されたもの。サンザシの枝を再解釈し、軽やかさを引き出したデザインが、花嫁の頭上で華やかな光を放つ。ティアラ「メロディ ナクレ」 [WG×ダイヤモンド] ¥70,565,000 [参考価格] (ショーム)



Boucheron

イギリス王室と縁の深い「ブシュロン」は、かのエリザベス女王やユージェニー王女も着用。伝統と格式を守りながらモダンな要素も追求したメゾンの卓越した技術が光るティアラは、現代の花嫁たちの美意識にもぴったりと寄り添う。ティアラ「パベルス」 [WG×ダイヤモンド(約32ct)] ¥97,680,000 [予定価格] (ブシュロン／ブシュロン クライアントサービス)



Tasaki

「高貴なプリンセス」の意味を持つティアラ「サラ」は、レースのように美しい緻密な美しさを誇るデザイン。オーセンティックなスタイルにローズカットダイヤモンドとあこや真珠が静謐な輝きを放つ。ティアラ「サラ」 [WG×あこや真珠×ダイヤモンド(12.35ct)] ¥37,730,000 (TASAKI)

marie claire marriage

S tar Necklace

特別な1日をより印象的に彩るのは視線を奪う存在感と高貴な輝きを放つネックレス。レッドカーペットのセレブリティのように、ウェディングドレスに輝きの魔法を添えて。

Chanel

ジェムストーンのカラフルなハーモニートップのピンクサファイアの煌めき。職人の卓越した技が生み出す繊細な美しさにうっとり。ダイヤモンドネックレス部分を取り外して着用したり、2本のネックレスを繋げてロングネックレスとして纏ったりすることができる。ネックレス [WG×PG×PT×ピンクサファイア(5.04ct) ×ダイヤモンド] ¥260,260,000 [参考価格] (シャネル／シャネル カスタマーケア)



Louis Vuitton

メゾンのサヴォアフェールが光るアバンギャルドなコレクションからアートピースのような新作が登場。モードな花嫁にこそ似合う珠玉の一点を。ネックレス「ビュー V」 ¥46,365,000 [参考価格] [WG×ダイヤモンド] (ルイ・ヴィトン／ルイ・ヴィトン クライアントサービス)



©MarcPiascecki / getty images

Fred

映画「プリティ・ウーマン」での印象的なシーンに着用されたネックレスにオマーージュを捧げ、現代に蘇ったもの。ルビーのハートが情熱的で愛らしく、ロマンティックなウェディングにぴったりのデザイン。ネックレス「プリティウーマン アンコンディショナル ネックレス」 [WG×ルベライト×ダイヤモンド] ¥41,789,000 (フレッド／フレッド カスタマーサービス)

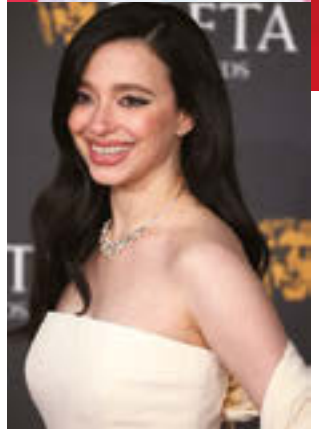


Pomellato

センシュアルで彫刻を彷彿とさせるフォルムのネックレスは、肌にスッと吸い付くような滑らかなラインが特徴。動くたびに揺れ輝くハヴェダイヤモンド2,924個が首元で上品な煌めきを放って。ネックレス「THE DUALISM OF MILAN」 [RG×ダイヤモンド] ¥45,749,000 (ボメラート／ボメラート クライアントサービス)



©Lyvans Bocklaky / getty images



©Neil Mockford / getty images

今どきセレブが装う 主役級ネックレスをお手本に

〈左上〉まるでお姫様のようなエル・ファニング。「カルティエ」のネックレスにシフォンドレスはウェディングのインスピレーションに! 〈右上〉アニャ・テイラー＝ジョイが2024年のカンヌ映画祭で魅せた大ぶりのネックレスは「ティファニー」 〈左下〉「ANORA アノラ」で今年のアカデミー賞主演女優賞を受賞したマイキー・マディソン。エレガントなビスチェドレスに煌めくネックレスを合わせたスタイルはまさにブライズ

P rincess Tiara ジュエラーの情熱が宿る憧れのティアラ

究極のラグジュアリーウェディング。その象徴がハイジュエラーのティアラを纏うという選択。メゾンの歴史に育まれた伝統と、匠の技が紡ぐ芸術が華やかな装いの頂点を彩る。

Skin Care for the Day

肌クオリティを高めるラグジュアリーケア

一大イベントの前、最高の肌のために、
先進&ラグジュアリーなケアを投入。
ホームケアのレベルを超えた実感で、
素肌のポテンシャルを高める逸品が揃った。

GUERLAIN

目もとの“影”に
光をもたらす
希少な蘭由来の成分を配合した
アイケア。上部の天然石カッサで
マッサージして、クマなどの影印
象を払拭。オーキデ アンペリアル
ゴールドノビレ ザ コンセントレート
アイトリートメント 15mL ¥67,100
／ゲラン

LA PRAIRIE

キャビアの恵みで
エイジングケア
名作ラインの乳液がパワーアップ。
最新技術で肌の修復プロセスを
活性化。代謝をサポートしながら、
なめらかなハリのある肌へ。
SC ハイドロ エマルジョン 70mL
¥56,320 ／ラ・プレリー

CLARINS

メイクが映える
シャープな目元へ
アイケアに圧倒的なスピード感。
植物の「ハルンガナ®」がシワ改
善成分「レチノール」級の効果を
持つことを発見。こそぞ、という
ときに、トータル アイ インテンシ
N 15mL ¥12,760 (7月4日 発売)
／クラランス

※ハルンガナマダカスカリエンシスエキス
(保湿成分)

Clé de Peau Beauté

発酵力で水分を
“貯蓄”する肌に

6年の時を経て名品がリニューアル。
米麹由来の氨基酸豊富な
発酵成分で肌を満たし、長時間
うるおいをキープできる状態へと導く。
ローション エサンシエル A
170mL ¥14,300 (7月21日 発売)
／クレ・ド・ポー ボーテ

DIOR

ゆるんだ肌を
シャキッとリフト

細胞呼吸による酸素運搬を活性
化し、肌の生まれ変わりをサポ
ートするクリーム。芯から突き上げ
るみずぎ、ハリを体感。ディオール
カプチュール クリーム 50mL
¥17,270 (8月1日 発売) ／パ
ルファン・クリスチャン・ディオール

CHANEL

週に2回の輝くための
“美の儀式”

贅沢なクリーム状マスクで癒や
れながらスペシャルケア。ラインを
象徴するヴァニラ由来成分入り。
週2回、顔全体に薄くのばし、約
10分置いてからコットンでそっと
ふきとって。サブリマージュ ル
マスク 50g ¥45,100 ／シャネル

EFFECTIM

美顔器とコスメで
3分クイックケア

ハンスフリーのリフトアップ美顔
器と専用クリーム。穏やかな刺激
で広範囲の表情筋をほぐし、鍛え
ることができる。1日2回まで使え、
装着するだけで“ながらケア”で
きるのが魅力。(上から)クイック
フェイシャルトレイナー ¥5
9,400、アミノプロテイン クリーム
50g ¥9,900 ／エフェクティム

LANCÔME

3in1で
大人の悩みをカバー

同時配合が難しい成分を、安定
配合することに成功した美容液。
1ステップで網羅的にケアでき、
悩み多き大人の肌の“救世主”
的存在に。ランコム レネルジー
CRX トリプルセラム RT50mL
¥27,830 (8月1日 発売) ／ラン
コム

marie claire marriage 香り、ホームケア、スパで磨く 洗練のブライダルビューティ

人生の印象的なシーンのひとつ、ブライダル。ラグジュアリーな香り、
スペシャルなスキンケア、ホテルの極上スパを組み合わせ、自分だけの“輝き”をブラッシュアップ。

photos: Eri Hosomi, text: Kiriko Sano

カップルの数だけ、愛の形がある現代。
ブライダルシーズンに纏う香りも、自由を選び、
シェアしたいもの。ふたりの距離を
近づけるフレグランスをセレクト。

Love and Scent

愛を纏う、最新フレグランス

BVLGARI

ティーノートの
先駆者の挑戦

初めて本物の茶エキスを配合、フ
ローラルにベルガモットと緑茶が
重なり、晴れの日にふさわしい透
明感と活力をもたらす。オ・バフメ
テ ヴェール オードワレ 75mL
¥21,340 ／ブルガリ パルファン
カスタマーサービス

Miller Harris

最愛の人を思い浮かべて

文学作品から着想を得たコレク
ション。恋人の残り香をイメージし
たホワイتمスクは、ふたりの親密
さを象徴するかのよう。ミラー ハ
リス メロディ オーデパルフাম
100mL ¥33,990 ／インター
モード川辺 フレグランス本部

FERRAGAMO

エレガンスと
情熱を映す「炎」

イタリア語で「炎」を意味する
「フィアンマ」。ウッディとフロー
ラル、ふたつのノートが調和し、柔
らかさと大胆さを感じさせる。フェ
ラガモ フィアンマ オーデパルフ
ム 100mL ¥22,770 ／インター
モード川辺 フレグランス本部

GIVENCHY

自立した
ふたりのための香り

ブランド創始者ユベール・ド・ジバ
ンシが愛した庭園をもとにしたシ
トラスウッディノート。シックでい
いきいきとした活気があり、モダン
なカップルに似合う。ド ジバンシ
イ デソベイサン 100mL ¥36,850
／パルファム ジバンシイ

NARCISO RODRIGUEZ

“芯”のある
モダンな華やかさ

“ムスクの匠”によるローズとゼラ
ニウムの協奏。現代の花嫁に似
合う、個性あるフェミニニティを感
じさせる一本。オールオブミー ナ
ルシソ ロドリゲス オードパルフ
ム 30mL ¥11,220 ／ナルシソ
ロドリゲス パルファム

LOUIS VUITTON

旅と自由を愛する人に贈る

「旅」に着想を得たラインより、ア
ンバーを纏ったフローラルノートが
誕生。甘さと深みのコンビネー
ションが自信をもたらし、新たな旅
立ちへの勇気をくれる。eL Ves ル
イ・ヴィトン オードゥ パルファン
100mL ¥48,400 ／ルイ・ヴィトン

YVES SAINT LAURENT

センシュアルな香りで
肌ケアまで

輝くシトラスやみずみずしいオレ
ンジプロッサムで、とびきり幸せな
オーラを纏って。ブランド初のア
ルコールフリーで、ボディや髪
のケアができるスキンケア成分配合。
リブレロー ニュ 50mL ¥18,810
／イヴ・サンローラン・ボーテ

——メイクアップ・アーティストである3人とメゾンが、協働でクリエイションを行っているのが特徴的ですね
「私たちは3人で協力して開発を行っています。異なる背景を持つからこそ、多様な視点を掛け合わせたものづくりができています。それが限界を押し広げ、結果的に『シャネル』のDNAを継続することに繋がっているのです」(セシル)。アミィは日々のインスピレーションも教えてくれた。「制作にあたり、メゾンのアーカイブや研究者の意見、アートも参考になりますね。最近、ロンドンで見たノアデビス展では、ヴィンテージの写真を再構築した絵画があり、私たちの活動との共通点を感じました」。ヴァレンティナはこう続ける。「最近、日本のファッションモデルの山口小夜子の書籍を購入しました。白い顔に、赤い目元と唇、首元に金箔をあしらったルックに注目しています。ゴールドは美しい色ですが、他の色と組み合わせるのが難しいところ、彼女は私が好きな色のレッドと合わせていた点が素晴らしいので、参考になりました」。多くのメゾンはクリエイティブ・ディレクターがひとりでクリエイションを行うのに対して、「シャネル」では3人のアーティストがチームで行うからこそ、生まれるイノベーションがあるということだ。事実、彼女たちが手がけるプロダクトは、シーズンごとに万華鏡のように多彩な魅力が感じられる。

——メゾンの持つエレガンスと、現代の新たな価値観についてどう捉えていますか？
「私たちの使命は、ガブリエル シャネルのクリエイションを後世へ繋げ、継続すること。人々の美意識や価値観は常に進化しています。例えば、50年前はエレガンスを象徴するリップの色が“赤”だったとしたら、今はその色が“ベージュ”になっているかもしれません。メゾンの歴史と時代の変化を見つめながら、新たな提案を行っています」(ヴァレンティナ)。まったく新しいものをゼロから作るのではなく、あくまでもメゾンの持つ歴史にリスペクトを持ち、継承者として自らを捉えているのだという。セシルはこう続ける。「ガブリエル シャネルは革新的なスタイルを生み出した女性でした。かつて“アヴァンギャルド”だったものは、今は“クラシック”となっています。ときには、リスクを取ることも大切です」

——日本という国や、人々のメイクの印象は？
「私は歌手の浜崎あゆみのファンで、彼女にインスパ



〈左〉今年の春先に発表された、セシルが監修した「カメリア フトゥーラ」のコレクション。アジアで特に人気を博したという〈右〉3人によるおすすめのプロダクト。アミィはスティックタイプのフェイスカラー、セシルはリキッドリップ、ヴァレンティナはクッションファンデーションがお気に入りだそう。(左上から反時計回りに) ボーム エサンシエル スカルプティング ¥7,040、ル ルージュ デュオ ウルトラトゥニュ 174 ¥6,270、レ ベージュ ヘルシー グロウ クッション SPF30 PA++++ 全8色 ¥10,340 /すべてシャネル

イアされてメイクアップ・アーティストになりました。アニメや漫画などのポップカルチャーも大好きです」。アジア人としてのアイデンティティを持つエネルギー溢れるヴァレンティナのことを“ベビー”と評するアミィとセシルは、日本にしかない美しさについて教えてくれた。「日本の繊細でフェミニンな色使いに注目していますね。欧州にない独自の文化を感じています」(アミィ)、「華道の器の釉薬に着想を得て、リキッド リップを開発

CHANEL COMETES COLLECTIVE 新たなエレガンスの継承 「コメット コレクティヴ」

2022年から、「シャネル」では「コメット コレクティヴ」と名付けられた3人の若きメイクアップ・アーティストたちが、シャネル メークアップ クリエイティブ ストウディオと協働しプロダクトをクリエイションしている。メゾンの歴史を継承し、新たな風を吹き込む3人の来日に際し、特別インタビューを行った。

photos: CHANEL / text: Kiriko Sano



今回の来日では、インタビューやトークショーなどで精力的に活動。クリエイションへの想いを豊かな語彙で語る3人は、プロダクト開発やメイクアップのみならず、“伝える”技術にも長けている。左から/セシル パラヴィナ、ヴァレンティナ リー、アミィ ドラマ

しました。日本の女性たちは、まるでプロのようなメイクテクニックを持っていると感じますね」(セシル)。
“トレンドを作るのではなく、イノベーションを生み出すことが使命”と話すコメット コレクティヴ。昨今のプロダクトは、目新しくフレッシュな色使いでありながら、エレガントさもあわせ持ち、独自性に満ちている。彼女たちの感性が吹き込まれ、いきいきとした魅力を開花させる「シャネル」の今後にますます期待したい。



AMMYY DRAMMEH
アミィ ドラマ
スペインとガンビアにルーツを持ち、2010年からロンドンを拠点に活動をスタート。2018年から2年連続で英国ファッション協会のアワードを受賞。エフォートレスでいて、個性を引き立てる独自のセンスと、柔らかなフェミニニティもあわせ持つ。



CÉCILE PARAVINA
セシル パラヴィナ
フランス出身。
アントワープ王立芸術学院でデザインを学び、メイクアップ・アーティストへと転身。2020年に英国ファッション協会のアワードを受賞。明確なヴィジョンを持ち、テクニカルでいて革新的な提案でクリエイションを牽引。



VALENTINA LI
ヴァレンティナ リー
中国の広西チワン族自治区で生まれ、北京とパリでメイクを学ぶ。巧みでダイナミックな色彩感覚を持ち、エッジでモダンなメイク提案を得意とする。カルチャー全般に造詣が深く、自由なマインドとメイクへの情熱で、イノベーションを起こす立役者。



THE RITZ-CARLTON, TOKYO ウェルネスのためのリトリートプランが誕生

ブライダル前に日頃の疲れやストレスをリリースしたいなら、「ザ・リッツ・カールトン東京」の2泊3日の宿泊パッケージを選びたい。自律神経を整える呼吸法のレクチャーや、体のリカバリー力を高めるエクササイズ、トリートメント、ヘルシーな食事がセットに。スパメニューは、深いコリにアプローチするもの、運動習慣のある人のためのボディケア、リンパを流してリフトアップを狙うフェイシャルの3種から選べる。自分らしい過ごし方で、挙式前に心身を整えて。
ストレッチやエクササイズ、スパトリートメントを含む、ウェルネスに特化したリトリートプラン。栄養バランスのとれた軽食も楽しめる。[WELLNESS RITUALS] 2泊3日 1室2名 ¥557,136～(サービス料込み) [プラン内容:ピストロノミー「タワーズ」朝食2回、ウェルネスセッション180分、ホテル内レストランで使えるクレジット¥20,000分、ウェルカムアメニティ(軽食)]

「ザ・リッツ・カールトン東京」
住所: 東京都港区赤坂9-7-1 東京ミッドタウン
tel: 03-3423-8000
https://www.ritzcarlton.com/ja/

Spa for the Bride オートクチュール美容で「最後の仕上げ」

花嫁準備の仕上げは、プロの手に委ねて。昨今はホテルでのウェルネスステイや、カスタムメイドのスパトリートメントが充実。極上のコンディションで当日を迎えよう。



FOUR SEASONS HOTEL TOKYO AT OTEMACHI カップルルーム&メンズメニューを完備

「禅」にインスパイアされたスパは、パートナーと施術を受けられるカップルルームに加え、メンズ専用メニューを完備。「おりん」の音から始まるカスタムトリートメントは、静けさを伴う極上のリラククス体験ができ、経験豊富なセラピストによる提案が受けられる。男性はデスクワークによる痛みや疲労をケアでき、全身マッサージとフェイシャルを希望にあわせて組み合わせ可能。癒やしの空間で、満足いくまで美の“仕上げ”を行って。

トリートメント前のフットバス、施術後のハーブティーもセットに。ゆったりと疲れをリリースできるプログラム。ビスポーク レジュビネーション ¥58,100～¥99,300。都市型のライフスタイルの男性をターゲットに、デスクワークによるコリや筋肉の痛みをリリースする男性専用メニュー。タイムアウトフォーエントルメン 90分～120分 ¥58,100～¥67,780

「フォーシーズンズホテル東京大手町 THE SPA」
住所: 東京都千代田区大手町1-2-139F
tel: 03-68100660
https://www.fourseasons.com/jp/otemachi/spa/



PALACE HOTEL TOKYO フレンチアルプスの水で全身ケアが叶う

パレスホテル東京の中にある「エビアン スパ 東京」では、挙式1週間前まで受けられるウエディング仕様の「オート クチュール セレモニー」をセレクトしたい。仏・レマン湖のそばにある「Evian Resort」のスパを日本で唯一体験でき、フレンチアルプス由来の水を用いることで、豊富なミネラルによるスキンケアを受けられる。自身の目的や気になるパーツにあわせた施術によって、気になる悩みもすっきりと一掃。
熟練セラピストの卓越した手技が、心にゆとりと深いリラクゼーションをもたらす。贅沢な安らぎの空間で、体の中から健やかになる“上質なウェルネス”を体験することができるメニュー。
オート クチュール セレモニー 120分 ¥61,000(サービス料15%別・挙式1週間前までにご利用ください)

「エビアン スパ 東京」
住所: 東京都千代田区丸の内1-1-1 パレスホテル東京 5F
tel: 03-3211-5298(直通)
https://www.palacehoteltokyo.com/evianspa/



GRAND HYATT TOKYO スパと所作で洗練された佇まいに

結婚式、披露宴を挙げる際に特別メニューを提供するグランド ハイアット 東京内のスパでは、デトックス、スリミング、ブライティング、リフトケアの4つの目的にあわせたコースがラインナップ。また、注目したいのはカップルで立ち居振る舞いのアドバイスが受けられる「ブライダルレッスン」。挙式の際の入場やお辞儀のシーン、ウォーキングなどの所作を、専属講師がマンツーマンでレクチャー。思い出に残る1日に、“自信”をくれるはずだ。

目的別にコスメや機器を使い分け、花嫁のさまざまなリクエストに答えるオーダーメイド型のスパトリートメント。ウエディング アラカルト 60分 ¥28,600、120分 ¥46,200(サービス料別)、モデル経験を持ち、ボディワークの専門家である山田友美氏によるマンツーマンセッションが受けられる。ブライダルレッスン(2名) 60分 ¥25,000～

「Nagomi スパ アンド フィットネス」
住所: 東京都港区六本木6-10-3
tel: 03-4333-8880(婚礼直通)
https://www.tokyo.grand.hyatt.co.jp/

ブルネロ・クチネリ氏は、イタリアの「ブルネロ クチネリ」社の創業者であり、クリエイティブ・ディレクターでもある。哲学的な思索を経営に結び付ける独特の企業精神は、「ブルネロ クチネリ」を特徴付けるもの。その経営論と実践の術は学術界からの評価も高く、これまでに、



豊かな自然に囲まれ、中世の雰囲気をとどめたソロメオ村。「ソロメオでは、ゲニウス・ロキに耳を傾け、村と谷の保存・再生に努めました。これこそが建築の大いなる恵みです」とクチネリ氏

BRUNELLO CUCINELLI

ブルネロ・クチネリ氏に建築学の名誉博士号授与 人間の尊厳を守りながら 文化的な空間を創出

明るい光の玉が、眼前に広がる海面に煌めくナポリ市内のホテルのテラス。そこには、翌日に控えた、ブルネロ・クチネリ氏のルイジ・ヴァンヴィテッリ・カンパニア大学での名誉博士号授与を祝う各国からの人々で賑わっていた。

photos: ©BRUNELLO CUCINELLI
text: Miyuki Yajima



ブルネロ・クチネリ氏は、長年かけてソロメオ村を修復。偉大な師たちの教えに学びながら、劇場やワイナリー、記念碑などを築いてきた。現在は18世紀の別荘を「ソロメオ普遍図書館」として再生中。周囲には公園や畑が広がる。
1,2.ルネサンス期の様式を取り入れたクチネリ劇場
3.石造りによる建物が美しいワイナリー
4.トラバーティンのモニュメントを併設した公園

すでに3つの大学から名誉学位を授与されるに至っている。

2010年、ペルージャ大学では「人間関係の哲学と倫理学」で、2018年にはメッシーナ大学にて、やはり哲学で、2022年にはローマのサピエンツァ大学の「経営学・金融・商品学」の分野でと、その功績の認

知には目覚ましいものがある。

今回、イタリア・カゼルタにあるルイジ・ヴァンヴィテッリ・カンパニア大学より授与されたのは、建築学の名誉博士号。ブルネロ・クチネリ氏は授与式に臨んで、次のように語っている。

「私は常に、建築を“人間の魂の容れ物”だと考えてきました。我々の本拠地、ソロメオ村の再生に取り組んだのは、ただ建物を修復するためではなく、美と調和、そして人間の尊厳が共存する空間を創るためでした。ウィトルウィウスの、『建築物は堅固で有用で美しくあらねばならない』という教えに従ったのです。私たちが働く場所、暮らす場所、集う場所は、私たちの精神に直接語りかけます。倫理ある資本主義の実現には、美しく持続可能な建築環境が不可欠です。建築家は単なる技術者ではなく、未来の人間社会を形づくる哲学者でもあると私は信じています。名誉あるこの博士号を通じて、文化と経済が共に歩むことの大切さを再確認しました」

2016年の地震で甚大な被害を受けたウンブリア州ノルチャ村についても、復興支援を通じて、建築や文化遺産の再構築に寄与したが、それも物理的な修復だけではなく、その地に暮らす人々の精神的な再生にも力を注ぐ姿勢が評価されたものだ。単なる復興支援を超えて、「建築による精神の復興」として建築と人、文化と経済の関係に着眼する点が建築と人間の調和を追求する「文化的な行為」とし



授与式では、「ゲニウス・ロキ(場所の精霊)、芸術の守護者」と題するLectio Doctoralis(博士講義)を行ったブルネロ・クチネリ氏

て認められたのである。

人間の幸福を経営の中心に据える「ブルネロ クチネリ」社。労働環境の向上、従業員との信頼関係の重視、社員への文化支援と、働く者への行き届いた配慮は他に例を見ない。こうした人間中心の経営の姿勢の背景には、「絶えず学ぶ姿勢」のクチネリ氏自身の存在がある。

彼は哲学や歴史、古典文学に深い関心を持ち、日々、知的探求を続けることで、経済と倫理の調和、効率と美の共存を実践していく。名誉学位の授与は、こうした氏の知的な生き方と経営哲学に対する高い評価を示すものである。このような経営のあり方が、次世代の企業と社会の理想的な関係を考察する上で、重要な実例とみなされているということに他ならない。



遊び心溢れるカラーリングのスーツケースは、旅とともに歩む相棒のような存在となりそう。今までにない旅が体験できる、そんな予感を抱かせてくれるラインナップ



プレミアムポリカーボネートを使用したスーツケースは、細部まで統一された色使いが美しい。内部片面にはフルジップ式コンパートメントと大型メッシュポケットを備え、もう片面には、「リモワ」独自の「フレックスディバイダー」により、移動中もしっかり中身が固定できる圧縮システムを採用。(奥から)“ESSENTIAL チェックインL”[W51×H77.5×D26.5cm]¥179,300 “ESSENTIAL チェックインM”[W44.5×H67.5×D24cm]¥165,000 “ESSENTIAL キャンピ”[W39×H55×D23cm]¥143,000(すべてリモワ/リモワ クライアントサービス)

RIMOWA

「リモワ」の定番コレクションから鮮やかな限定色登場 まだ知らない風景に出会う旅へ

軽量で耐久性に優れたスーツケースが絶大な人気を誇る「RIMOWA(リモワ)」の定番コレクション“ESSENTIAL(エッセンシャル)”に2色の限定シーズンalカラーが登場。自然から着想を得た鮮やかでハッピーなムード溢れる発色が、新しい旅を演出してくれる。

photos: © RIMOWA



高性能なスーツケースで世界をリードする「リモワ」。中でも軽量で高性能を誇るポリカーボネート素材を使用した“エッセンシャル”コレクションは、アルミニウムのスーツケースと並ぶアイコン的な存在として、世界中のトラベラーに愛されている。その“エッセンシャル”コレクションから、夏の季節に向けて、遊び心溢れる旅にインスパイアされた限定シーズンalカラー「グラナダ」と「ヴェルデ」が誕生した。「グラナダ」は成熟したザクロを思わせる深みのあるピンク。「ヴェルデ」は多肉植物アガベのグリーンをイメージした、みずみずしくエネルギー溢れるカラー。自然界の美しさと旅の自由な精神を融合させたカラーリングは、大自然への旅はもちろん、活気溢れる都市の風景にもマッチし、旅のあらゆるシーンに寄り添ってくれる。旅がもたらす高揚感や好奇心を映し出し、目的地への到着だけでなく、その過程を大切にするというブランドの哲学をまさに体現しているかのようだ。

「グラナダ」カラーで彩られた再生ナイロン製のバッグやトラベルアクセサリも「SIGNATURE(シグネチャー)」コレクションから登場。〈上・左から〉“SIGNATUREフラップバックボックスモールド”[W29×H38×D15cm]¥206,800 “SIGNATUREスライディングトート”[W39.5×H35.5×D15cm]¥180,400 〈下・上から〉“パッキングキューブM”[W24×H24×D9cm]¥18,700 “三つ折りトイレットリーポーチ”[W26.5×H22×D9cm]¥39,600 “パッキングキューブL”[W36×H24×D9cm]¥20,900(すべてリモワ/リモワ クライアントサービス)

「モエ・エ・シャンドン」と ファレル・ウィリアムスが贈るバースデーギフト MOËT & CHANDON

「モエ・エ・シャンドン」がファレル・ウィリアムスとともに作り上げた、誕生日を祝うための限定コレクション。
モエ・エ・シャンドン メゾンCEO兼社長のシビレ・シェラー、大切なひとときに華を添える特別なシャンパンについて語った。

text: Saya Tsukahara



「モエ・エ・シャンドン ×
ファレル・ウィリアムス 限定コレクション」

1869年の誕生以来、世界中の人々から愛され続けるブリュット(辛口)シャンパン「モエ アンペリアル」のボトルとボックスを、ファレル・ウィリアムスが手がけた。ミッドナイトブルー、ディープレッド、ゴールドの3色展開。ボックスの側面にはファレル・ウィリアムスの名前、ボトルのロイヤルシール部分にはイニシャルがデザインされている。各¥9,845(箱付き)／MHDモエ ヘネシー ディアジオ

「シャンパンの泡を見て幸せな気持ちになるという体験は、時代を超えて受け継がれてきました。フォーミュラ1やスポーツの場でもシャンパンで祝杯を上げることが伝統になっています」

「モエ・エ・シャンドン」は大切な瞬間を祝福するシャンパンとして、長きにわたり世界中で親しまれてきた。この春、誕生日を祝う人々のためにデザインしたコレクションが登場。アーティスト、ファレル・ウィリアムスとのコラボレーションだ。シビレ・シェラーはこう振り返る。

「コラボレーションは1年半ほど前にスタートしました。彼がメゾンを訪ねてくれ、醸造担当者やブドウ畑で働く人たちと会ったのです。その中で、クラフトマンシップ、クリエイティブなビジョン、プロダクトへの情熱、集団で作ることへの信念など、共通の価値観を持っていることがわかりました」

ファレルがメゾンのアーカイブを探るなかで着目したのが、ボトルを飾るリボンだった。

「1892年のデザインです。リボンは、人と人、そして過去と未来を結ぶシンボルですし、まさに誕生日を祝うボトルにふさわしいデザインだと思います」

リボンがタイのようにボトルを彩り、白いドットはパールを連想させる。

「毎日、世界のどこかで約2200万人が誕生日を迎えています。大切なのはともに祝う人たちとのつながり。シャンパンを家族や友人と開けると、必ず笑顔になると思います。日々の小さな喜びも、ぜひシャンパンと一緒に楽しんでいただけたら」

「モエ・エ・シャンドン」が日本にや

ってきて、今年で120周年。今では世界第2位の市場規模だとい

う。「どんな料理にでも合わせることができ、和食とも相性がいい。美味しい食事と味わっていただきたいですね」



シビレ・シェラー
モエ・エ・シャンドン メゾンCEO兼社長



Pharrell Williams
ファレル・ウィリアムス
音楽アーティスト、プロデューサー、ソングライター、慈善活動家、起業家。ルイ・ヴィトン メンズウェアのクリエイティブ・ディレクターとしても活躍。2004年、2014年、2019年のプロデューサー・オブ・ザ・イヤーを含め、グラミー賞を通算13回受賞。

次号予告 marie claire 7月31日刊行です 31st July, 2025

shop list 掲載商品のお問い合わせ先

ア アレキサンダー・マックイーン クライアントサービス
tel: 0120-992-297
イ イヴ・サンローラン ボーテ tel: 0120-526-333
イザ tel: 0120-135-015
インターモード川辺 フランス本部 tel: 0120-000-599
ヴァンショロン コンスタタン tel: 0120-63-1755
ヴァン クリーフ&アーペル デスク tel: 0120-10-1906
エドロ ジャパン tel: 03-3406-2655
MHD モエ ヘネシー ディアジオ tel: 03-5217-9777
A.ラング&ゾーネ tel: 0120-23-1845
LVMHウォッチ・ジュエリー ジャパン ウブロ tel: 03-5635-7055
LVMHウォッチ・ジュエリー ジャパン セニス tel: 03-3575-5861
LVMHウォッチ・ジュエリー ジャパン タグ・ホイヤー tel: 03-5635-7030
エルメスジャパン tel: 03-3569-3300
オメガ tel: 0570-000087
カ カルティエ カスタマー サービスセンター tel: 0120-1847-00

サ グッチ クライアントサービス tel: 0120-99-2177
グرافタイヤモズ ジャパン クライアントサービス tel: 0120-667-687
クラランス カスタマーケア tel: 050-3198-9361
クリスチャン ディオール tel: 0120-02-1947
クレッド・ポー ボーテお客様窓口 tel: 0120-86-1982
クロエ カスタマー・リレーションズ tel: 03-4226-3883
ゲラン お客様窓口 tel: 0120-140-677
サンローラン クライアントサービス tel: 0120-952-746
資生堂お客様窓口(エフェクティム) tel: 0120-81-4710
シャネル カスタマーケア tel: 0120-525-519
ショパール ジャパン プレス tel: 03-5524-8922
ショメ tel: 03-5635-7057
ジョルジオ アルマーニ ジャパン tel: 03-6274-7070
ジルサンダー ジャパン tel: 0120-998-519
ステラ マッカートニー カスタマーサービス tel: 03-4579-6139
セイコーウォッチ お客様相談室 tel: 0120-302-617

タ TASAKI tel: 0120-111-446
タミアーニ 銀座タワー tel: 03-5537-3336
ティファニー・アンド・カンパニー ジャパン・インク tel: 0120-488-712
ナ オルシロ ロドリゲス パルファム お客様窓口 tel: 0120-110-664
日本ロレックス tel: 0120-929-570
パテック フィリップ ジャパン・インフォメーションセンター tel: 03-3255-8109
ハ バティック クライアントサービス パルファム お客様窓口 tel: 0120-346-376
ハルファム ジャパン・インク [LVMH フランス ブランス] tel: 03-3264-3941
ハルファム・クリスチャン・ディオール tel: 03-3239-0618
ピアジェ コンタクトセンター tel: 0120-73-1874
フェラガモ ジャパン tel: 0120-202-170
フェンディ ジャパン tel: 0120-001-829

マ ブュロン クライアントサービス tel: 0120-230-441
ブラダ クライアントサービス tel: 0120-45-1913
ブランク ミュラー ウォッチランド東京 tel: 03-3549-1949
ブルガリ ジャパン tel: 0120-030-142
ブルガリ パルファム カスタマーサービス tel: 03-6380-5706
ブルネロ クチネリ ジャパン tel: 03-5276-8300
ブレゲ プティック銀座 tel: 03-6254-7211
ブレッド カスタマーサービス tel: 03-5635-7040
ボモラート クライアントサービス tel: 0120-926-035
ミキモト カスタマーズ・サービスセンター tel: 0120-868254
ラ・プレリヤ tel: 0120-223-887
ランコム お客様相談室 tel: 0120-483-666
ルイ・ヴィトン クライアントサービス tel: 0120-00-1854
ロイヤル・アッシュ カスタマーサービス tel: 0120-407-957
ロエペ ジャパン クライアントサービス tel: 03-6215-6116
ロンジン tel: 03-6254-7350
ワ 和光 tel: 03-3562-2111



marieclairejapon.com

Welcome to Our Site!

ショパンの調べ、そして革新的な科学技術まで。 ポーランドの「創造性の遺伝子」を五感で体験 EXPO2025

「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマに、連日大きな話題を呼んでいる2025年大阪・関西万博。
国内・海外180以上のパビリオンが並ぶ中、とくに注目なのがポーランドパビリオンだ。

photos: A.Stykowski/PAIH text: Satsuki Tadokoro



ポーランドを知るための、ユニークな展示と催し

1.「創意の園(Plantation of Ideas)」セクションでは、ポーランドを代表する多くの企業による、多彩な取り組みを知ることができる 2.ショパンのピアノサイトを確実に楽しむために、大阪・関西万博公式ウェブサイトからの事前予約がおすすめ 3.デジタル制御された自然素材の不思議な楽器が、オーケストラのように一体となってショパンの名曲を奏でる「オーラ(Aura)」セクション 4.薬草の世界へ誘う。「心象の緑(Spirit Plant)」セクション 5.ポーランドの民族舞踏など、さまざまなイベントを開催している



ポーランドで活躍するバレエダンサー・海老原由佳さんが登場!



© Marek Wojciak

ポーランドパビリオンのアンバサダーを務めるのは、ポーランド国立バレエ団で活躍し、2度の「ポーランド最優秀女性ダンサー賞」やポーランド文化功労章なども受賞している海老原由佳さん。9月5日、万博会場内の「ウーマンズパビリオン」に彼女が登場する。「When women thrive, humanity thrives 〜ともに生き、ともに輝く未来へ〜」をコンセプトに、女性たちの体験や視点を通じ、公平で持続可能な未来を志すことを呼びかけている当パビリオン。海老原さん自身のバレエ人生を通した特別なストーリーにも、注目が集まる。

海老原由佳
Yuka Ebihara
1986年、東京生まれ。7歳からバレエを始める。イギリス、フランスなどのバレエ団を経て、2011年からポーランド国立劇場に所属し、プリンシパルとして絶大な人気を博した。



https://www.expo2025.or.jp/official-participant/poland/